香蘭会

発行所
〒810-0014
福岡市中央区平尾３-20-57
福岡県立福岡中央高等学校
同窓会香蘭会
TEL（092）521-7870
FAX（092）791-2811

デザイン・印刷所
㈱サラト

同窓会香蘭会会長
三木　和信（高10）

同窓会香蘭会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

去る三月一日、第七十五回卒業証書授与式が行われ、三四一名の卒業生が新たなフィールドに向けて巣立っていかれました。世界を未曽有の困難下に置いた約三年間にも及ぶ新型コロナウイルスの禍中であり、制約も多かった高校生活であったことと思いますが、困難を共にした先生方、ご友人たちとの価値ある日々を送られ、かけがえのない思い出を築かれたのではないでしょうか。

一方、今年四月七日、第七十八回入学式において男子一九一名、女子二一〇名、計四〇一名の入学者が希望を胸に新たに我が校の扉を開きました。

福岡県立福岡中央高等学校は、建学以来の校訓「誠意・仁愛・努力」のもと、全国屈指の名門校として歩み続けております。令和五年度入試においては、九州大学、熊本大学、九州工業大学等難関国立大学に一四五名の合格者を輩出し、現役合格率九六・六％の驚異的な合格実績を誇っています。また福岡大学には四四〇名合格と全国一の合格者を輩出するほか、早稲田大学、明治大学、法政大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、西南学院大学等難関私立大学にも多くの合格者を送り出しています。

ようやくコロナ規制が緩和され、日常を取り戻しつつありますが、まだまだ予断を許さない状況であります。各界の第一線で活躍されている香蘭会の皆様、今後ともますます健康にご留意され、ご発展・ご活躍されますよう願ってやみません。

また福岡県立福岡中央高等学校の学び舎で青春の日々を刻んだ卒業生の一人として、母校発展のためにご支援いただきますようお願い致しますとともに、後輩たちへのご指導をお願いしたく存じます。

香蘭会の皆様のこれからのさらなる可能性への挑戦を心より祈念申し上げます。

第38代校長
井上　英一郎

同窓会香蘭会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から母校福岡中央高等学校の教育活動に際し、並々ならぬ御支援御協力を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

私は、佐伯裕子校長の後任として令和五年四月一日付で赴任しました井上英一郎と申します。佐伯前校長の後任という重責ではありますが、精一杯力を尽くす所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、この三月に第七十五回生が母校を巣立ちました。令和五年度入試では、九州大学をはじめ難関大学に多くの合格者を出すとともに国公立大学に一四五名が合格いたしました。

七十五回生は、三年前の緊急事態宣言により学校が休校となった学年です。四月は登校できずにオンラインでの授業、五月は分散登校、六月からもさまざまな制限の中での学校生活であり、生徒が思っていた高校生活とは大きく異なるものでした。

そのような中で福岡市総合体育館での体育大会では各御家庭一名ではありますが保護者の方にも見ていただくことができ、修学旅行や秋の秋桜祭などの学校行事も実施することができました。生徒はできる範囲で工夫しながら精一杯楽しんでくれたと思います。

今年度の学校行事は、さらに制限を緩和して実施いたします。国内外の修学旅行も引き続き実施し、夏季休業中には、姉妹校であるアメリカ合衆国ボストンのＡＭＳＡチャータースクールを訪問します。昨年度まではオンラインでの交流でしたが、直接交流することで生徒の国際感覚をより一層磨いてくれることと信じています。

このように学校が生徒の未来につながる活動ができますのも同窓会香蘭会、教育振興会の御支援のお陰と心より感謝いたします。今後も新たな試みに挑戦したいと考えています。

結びに、同窓会香蘭会のますますの発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

福岡中央高等学校

温故知新

古きを訪ね今を知る

芝蘭の深林に生ずるや、人無きを以って芳しからざるに非ず

芝蘭は人のいない谷間にあっても芳しい香りを放っていることから、君子は逆境に処してもなお志を曲げることなく、節を高く持するのたとえ。『孔子家語』に収められているこの言葉が「香蘭会」の名の由来です。いかなる状況下においても自らの誇りをなくすことなく、しかも決して尊大ではなく…。そんな人間づくりを目指して名付けられたのです。

図書室開室

大正四年十一月十五日に初めて図書室が開設されました。それまでは、香蘭会組織の中の図書部という名ばかりの存在でしたが、同年十一月十日に行われた天皇ご即位の大礼の記念事業として図書室の設置が決定し、この日を契機として拡張発展しました。

さらに翌大正十五年十二月末には、恩賜記念文庫が新しく設置されました。その年の十一月に陸軍特別大演習が福岡地方で行われた際、天皇陛下は御統監のため県庁に御滞在され、供奉の宮内庁官吏の宿泊所に本校校舎が当てられました。本校校舎は内部の壁を全部新しく塗替え、約三十の各室には新調の畳が敷かれ、百数十名が約十日間校舎に起居しました。その間学校は、教育会本部に移転しました。このような事情から天皇陛下は教育御奨励の思召によって、金七百円を本校に下賜され、これが基金となって記念文庫の設置をみるに至り、この基金より生ずる利子で図書を購入することになり、本校図書館は蔵書も多くなり一大発展をしました。

その後、校舎の建て替え、引っ越しにより、図書室は木造校舎一棟の二階にありましたが、戦後一棟の一階に移されました。図書については戦後占領軍が来る前に、国家主義的図書で占領政策に触れそうなものは、ほとんど廃棄処分にして整理してしまいました。とにかく役に立つ本は残っていなかったのは事実で、その後、年々ある程度の予算で充実されてきましたが、図書館教育の充実は昭和三十三年七月の図書館の建設を待つことになります。

図書館建設

学校図書館は、学校教育において欠くことのできない基礎的設備ですが、本校の図書室は、戦後は正面玄関を入ってすぐ東側の教室を図書室に充てていました。閲覧室八坪、書庫ならびに事務室二十五坪という僅か一普通教室程度の広さしかなく、蔵書に不便なことは言うまでもなく、在校生千二百名の勉学に、充分な機会と場所を与えることが出来ず、しかも、校舎内に図書室を拡張する余裕がありませんでした。生徒の自発的学習態度を確立するためにも、独立した図書館を建設する必要がありました。

昭和二十九年四月一日に学校図書館法が施行され、学校図書館の活動が本格化してきました。本校でも、創立六十周年記念事業として図書館の建設を決定し、三十一年度より、生徒の図書館建設資金の積立と、本校東側の隣接地買収の交渉が始まりました。

ＰＴＡ、香蘭会の提携協力を得てその実現に努めた結果、一二二坪四合の土地の入手に成功し、ＰＴＡが全額負担し、県へ敷地を寄付する形になりました。

図書館は完成し、高等学校の図書館としては、西日本地区で一番素晴らしいと言われました。その内部構造は、一階は書庫・視聴覚教室・集会室・ホール、二階は生徒閲覧室・事務室、地階は作業室・倉庫・便所となっており、およそ開架式図書館の運営には欠かせない近代的設備の整ったものでした。この間、六月に学校図書協議会（ＳＬＡ）に加入し、七月までに新しい図書閲覧規定を作りました。

新図書館建設

その後、創立百周年記念事業の一環として、それまでの講堂の場所に新講堂（和真恵学堂）および新図書館の建設が進められ、これまでの図書館は解体され、その後に平成九年八月、カフェテリア（二階に生徒食堂、一階に部室と電気室）が完成しました。

蔵書管理システム導入

百十周年記念事業では、図書館の蔵書管理システムが導入され、図書の管理が大変便利になりました。

昭和60年頃の図書館の様子

現在の図書館の様子

※本文は、百周年史より抜粋いたしました。

創立125周年　同窓会香蘭会総会

日　　時　令和５年７月１日（土）　受付：午後４時30分～　開会：午後５時30分
会　　場　ホテルニューオータニ博多　３階「芙蓉の間」
会　　費　一般会員　９，０００円
高校４回～17回生　６，０００円
高校72回～75回生　３，０００円
高女～高校３回生　ご招待
当番幹事　高女48回、高８、18、28、38、48、58、68回、新卒75回

この３年あまりを振り返った時に自分の支えとなったのは、人との繋がりであり、取り立てる事のなかった日常であったと改めて実感しました。

明るい目標を立てる事にすら気後れし、思うように進めなくなった時、無理に先ばかりを追うのではなく、懐古するばかりでもなく、すぐそこにある日常を見渡す。そうしていくうちに、これまで遥か遠くに感じていた過去も未来も、実は自分のすぐ近くに溢れていて、その時々で必要なものを選べる力は、これからの人生をより豊かに、軽やかにしてくれるのではないか…そう考えるようになりました。

変わらないでいること、変わり続けること、相反する言葉でありながら、根本は同じ本質であるというこの『不易流行』を総会のテーマといたしました。（当番幹事代表　高校48回）

FUKUOKA CHUO 125th Anniv.
―不易流行―
since 1898

『不易流行』とは松尾芭蕉が示した俳句の理念。
芭蕉をモチーフにしています。

『還暦同窓会を開催しました』
高校33回生（昭和56年３月卒）

令和４年11月４日、アゴーラ山の上ホテルにおいて、53名の同窓生と一緒にお祝いの会を開くことが出来ました。

短い時間でしたが、みんなが笑顔で会話も弾み、素晴らしい会になったと思います。

ホテルへ行く前、７組だった佐伯校長の計らいで、学校の講堂で吹奏楽部の演奏会も催して頂きました。感動の時間でした。

今回初参加の方もたくさんいらっしゃいました。同窓生の輪が広がっている実感でした。

これからも毎年同窓会は続いていきます。

高校33回　池見　繁

高校15回生　同期会

私達高校15回生は、母校歴史資料室を見学し、ホテルの送迎バスで同期会の会場である、西区のホテルマリノアリゾート福岡に向かいました。

３年ぶりの同期会開催に、県外からも14名来て頂き、合計37名の参加でした。再会を皆さん喜んでいました。ロケーションのいいホテルに、その内22名が宿泊して、２次会も石橋君の弾き語りを聞きながら大変盛り上がりました。

翌朝は素晴らしい日の出を見て感動いたしました。今回旅行には行けませんでしたが、すっかり旅行気分を楽しんでくれた同期会でした。

令和４年10月30日開催　報告　柴田宏昭

母校では国際交流に力を入れています

■姉妹校 AMSAとの交流

AMSA（Advanced Math and Science Academy）は、ボストンにあるチャータースクールです。福岡中央高校とは令和３年11月に姉妹校提携を行いました。これまでオンラインで生徒同志の交流を進めてきましたが、令和５年８月１日～８日に今回初めて福岡中央高校の生徒がAMSAを訪問することになりました。

現地生徒も期待に胸を膨らませていて、AMSAにて、様々な交流が行われる予定です。

福岡県立福岡中央高等学校 令和五年度入試 進路実績

国公立大学 145名 合格

現役占有率 96.6%（現役生／全合格者数）

福岡中央高校は現役での国公立大学合格を目指します!!

九州大学 9名
熊本大学 10名
九州工業大学 11名
福岡女子大学 10名
東京学芸大学
東京都立大学
神戸市外国語大学
山口大学
福岡教育大学
佐賀大学
長崎大学
宮崎大学
鹿児島大学
北九州市立大学
福岡県立大学　など

福岡県内の主な私立大学

西南学院大学　233名
福岡大学　440名
中村学園大学
九州産業大学
福岡女学院大学
福岡工業大学
筑紫女学園大学　など

福岡県外の主な私立大学

早稲田大学
明治大学
明治学院大学
関西大学
同志社大学
青山学院大学
法政大学
中央大学
関西学院大学
立命館大学　など

本校における主な国際交流事業の取組について

１．イングリッシュシャワー
⑴ 内容　日本経済大学の留学生との英語による交流、他校生徒とともに留学生との交流
⑵ 時期　12月下旬（１日）
⑶ 対象　１年生希望者

２．AMSAチャータースクール（ボストンの姉妹校）との交流活動
⑴ 内容
ア　個人間の電子メールによるペンパル交流（随時・週１回程度）
イ　Zoomを用いた学校交流（１ケ月に１回程度）
ウ　福岡またはボストンでの現地交流（年１回程度）
⑵ 時期　１年間・期間と頻度は上記⑴参照
⑶ 対象　１、２、３年生希望者

３．海外修学旅行の実施
⑴ 内容　ハワイ修学旅行　現地高校生徒や福岡県人会との交流
⑵ 時期　10月（４泊６日）
⑶ 対象　２年生希望者（国内修学旅行【関東】と海外修学旅行の選択制）

４．外部団体プログラムによる交流活動
⑴ Stanford e-Fukuoka プログラム（在福岡米国領事館主催）
ア　内容　米国スタンフォード大学専任講師やゲストスピーカー等によるオンライン講義
公認インストラクターによるTOEFLスコア向上セミナー（３月、８月に実施）
イ　時期　３月～７月（計12回）
ウ　対象　１、２年生希望者

５．過去の国際交流事業について（コロナ禍の代替措置としての取組）
⑴ イングリッシュキャンプ（エンパワーメントプログラム）
ア　内容　留学生による英語を用いた宿泊教育プログラム
イ　時期　７月下旬（３泊４日）
ウ　対象　１、２年生希望者（令和４年度で終了。令和５年度は本校単独実施予定なし）
⑵ イートンXプログラム（EdTech 事業）
ア　内容　イギリスのイートン校における教育プログラムを利用したプレゼンテーション研修（リモート及びグループ研修）
イ　時期　秋季（約３ケ月間）
ウ　対象　１、２、３年生希望者（令和３年度で終了）

令和４年度部活動実績

全国大会出場!!
- 水泳部
- 総合部（体操競技・バトントワリング）
- 百人一首部

九州大会出場!!
- ソフトボール部
- 陸上競技部
- 放送部

県大会出場!!
- 女子バスケットボール部
- 男子ソフトテニス部
- 女子ソフトテニス部
- 弓道部
- 総合部（少林寺拳法）
- 書道部

国民体育大会
- ソフトボール部２名が福岡県代表選手として出場

イングリッシュキャンプ

令和四年度も新型コロナウイルス感染症の影響で海外研修を行うことはできませんでした。しかし、令和三年度の校内のみで行ったイングリッシュキャンプとは異なり、福岡県立社会教育総合センターにおいて宿泊を伴ったイングリッシュキャンプを行うことができ、非日常の中で「英語漬け」の環境に身を置けたことは生徒たちにとって非常に有意義であったと感じます。

募集段階では参加者が集まるのかという不安が大きかったですが、一年生を始めとした英語に意欲がある、またはリーダーシップを身に付けたいという生徒が多く集まりました。

普段の生活では考えることのなかった「ポジティブシンキング」や「自分自身とは何者なのか（アイデンティティ）」、「リーダーシップ」、そして「SDGs」について深く考えることができたようです。

海外修学旅行

二〇二二年十月十日～十月十六日、機内泊を含む五泊七日で海外（ハワイ）修学旅行を行いました。コロナ禍における海外修学旅行は福岡県で初であり、ご家庭の協力の下、様々な条件を乗り越え、体調不良者も出ず、無事に実施することができました。

初めて国際線に乗って緊張いっぱいだった初日のフライト。閉園中にも関わらず、福岡中央生のためだけに開放してくれたモアナルアガーデン（写真①）。現地ワイパフ高校との学校交流（写真②）。ハワイ福岡県人会の方々との交流（写真③）。生きた英語をたくさん使って楽しんだ二日間の班別自主研修（写真④⑤）。そのどれもがかけがえのない思い出となりました。

写真②

写真①

写真③

写真④

写真⑤

令和四年 秋の同窓ゴルフ会

十一月三日（木・祝）、小郡カンツリー倶楽部にて秋の同窓ゴルフ会を開催しました。

暴風雨の中での春の同窓ゴルフ会の時とは打って変わって、今回は快晴で絶好のゴルフ日和となりました。

総勢五十八名の同窓の方々が青空の下でゴルフを楽しまれているのを見ると、コロナ禍以前は当たり前だった光景が今は改めてありがたいことだと感じました。

今回、優勝された方は三十二回生の中島慶人さんです。トリプルボギーからのスタートだったそうですが、見事優勝となりました。

また、表彰式では来年の総会代表幹事の四十八回生より総会に向けての挨拶がありました。ゴルフ会とともに同窓生を繋ぐ同窓会総会へのご協力をいただければと思います。

（同窓ゴルフ会役員一同）

令和４年度　福岡県立福岡中央高等学校同窓会香蘭会　会務報告

令和５年４月１日作成

年　月　日	会　議	議　事　内　容
令和４年 ４月７日（木）	第77回入学式	三木和信香蘭会会長のみご出席
	会計監査	令和３年度経常費会計、特別会計監査他
４月16日（土）	第１回理事会	役員改選、総会、会務・決算報告、予算案審議、会報について、その他
５月22日（日）	第２回理事会	大幹事会の担当割、会報、総会、故田中久也前香蘭会会長を偲ぶ会について、その他
	教育振興会	決算報告、予算案審議について、その他
	故田中久也前同窓会香蘭会会長追悼音楽会	母校吹奏楽部の演奏による故田中久也前香蘭会会長の追悼音楽会（於：母校和真恵学堂）
	故田中久也前同窓会香蘭会会長を偲ぶ会	於：ホテルマリノアリゾート福岡
６月25日（土）	第３回理事会	総会における役割分担、サイバーセキュリティ対策、各支部総会について、その他
７月２日（土）	香蘭会総会	於：ホテルニューオータニ博多
８月27日（土）	第４回理事会	当番幹事より総会の報告、次年度総会、会報・会員名簿について、その他
10月29日（土）	近畿支部総会	三木会長・佐伯校長・池見理事・金井副会長（恩師）　出席51名（於：ホテルグランヴィア大阪）
11月12日（土）	関東支部総会	You Tubeにてライブ配信開催　出席20名（於：ホテルニューオータニイン東京）
12月３日（土）	第５回理事会	総会、卒業記念品、国際交流支援金等、次期同窓会香蘭会会長・新理事の選出について、その他
令和５年 １月21日（土）	臨時理事会	次期同窓会香蘭会会長について
２月18日（土）	第６回理事会	総会、役員再任確認、会員名簿、同窓会入会式の担当割、卒業証書授与式について、その他
２月28日（火）	同窓会入会式	
３月１日（水）	第75回卒業証書授与式	

同窓会香蘭会役員（令和五年度総会まで）

会長　三木　和信（高10）
相談役　井上英一郎（校長）
副会長　川口　敬介（高24）　金井　昌平（高26）　安部　徳親（高27）　讃井　研二（高27）
事務局長　梁井　浩（高35）
監事　占部　清美（高30）　池見　繁（高33）
理事　髙橋　英人（高８）　柴田　宏昭（高15）　伴野　実（高19）　寶満千佳子（高21）　村岡　辰一（高23）　山本　圭介（高25）　藤崎　剛一（高28）　古藤　和久（高29）　金子　欣嗣（高34）　椙　真弓（高35）　中村　典子（高37）　山崎　武志（高40）　鬼木　悦子（高40）　行徳　忠宏（高43）　秋山　譲（副校長・高37）　石田　節子（教頭）　田中　誠二（参事兼事務長）　西田　圭助（総務企画部長）　中江　智子（高40）
参与
事務局員

同窓会香蘭会支部

関東支部 支部長　山下　義尚（高29）　☎〇三－三八五七－二五七四
近畿支部 支部長　清水　和夫（高18）　☎〇七八－五八一－六〇五二
佐賀支部 支部長　鬼丸美代子（高７）　☎〇九五二－三〇－八三〇四

前相談役　佐伯裕子校長がご退職され、新相談役　井上英一郎校長がご就任されました。

前参与　日高妙子参事兼事務長がご退職され、新参与　田中誠二参事兼事務長がご就任されました。

筑後支部は、本部に統合いたしました。

本校に勤務するOB職員（令和五年度）

教諭／理科
写真・陸上競技部
尼崎　真貴（高52）

教諭／数学
演劇・柔道部
山﨑　武志（高40）

教諭／国語
美術・野球部
西内　久嗣（高39）

教諭／社会（地歴）
パソコン・水泳部
石井真幸子（高37）

教諭／社会（地歴）
吹奏楽部
梁井　浩（高35）

副校長
秋山　譲（高37）

同窓会事務局員
中江　智子（高40）

養護教諭
飯干　麻子（高40）

教諭／英語
ダンス部
林　花菜恵（高67）

教諭／社会（世界史）
生徒会
北里　光（高63）

教諭／社会（地歴）
野球部
野田　貴志（高55）

令和４年度　同窓会香蘭会経常費会計　決算報告書

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(B-A)	説　明
前年度繰越額	9,056,306	9,056,306	0	
会　費	6,330,000	6,297,300	△32,700	@500円×8,482名＋@600×3,428名(延人数)
入　会　金	1,735,000	1,735,000	0	@5,000円×347名
終　身　会　費	1,735,000	1,735,000	0	@5,000円×347名
雑　収　入	694	100	△594	預金利息
合　計	18,857,000	18,823,706	△33,294	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
会　議　費	300,000	198,087	101,913	理事会経費等
総　会　費	2,000,000	1,499,395	500,605	
慶　弔　費	200,000	63,167	136,833	弔電・転出者記念品料
渉　外　費	200,000	20,000	180,000	
旅　費	500,000	96,920	403,080	近畿支部総会旅費
事　務　局　費	1,600,000	1,520,671	79,329	事務手当、消耗品費等
情報通信費	600,000	439,028	160,972	電話代、ＨＰ運営費、切手代等
振　興　費	1,200,000	900,527	299,473	OBゴルフ会・関東・近畿支部総会補助金
母校後援費	1,500,000	1,226,957	273,043	生徒会部活動補助、卒業記念品代等
維持管理費	300,000	10,450	289,550	
繰　出　金	600,000	600,000	0	教育振興会補助金
周年行事積立金	1,000,000	1,000,000	0	周年行事積立金
名簿・会報管理積立金	500,000	500,000	0	名簿・会報管理積立金
予　備　費	8,357,000	0	8,357,000	
合　計	18,857,000	8,075,202	10,781,798	

（収入額）18,823,706円　－　（支出額）8,075,202円　＝　（差引残額）10,748,504円
残額の　10,748,504 円　は翌年度へ繰り越します。

令和４年度　同窓会香蘭会周年行事積立金会計　決算報告書

周年行事積立金　（単位：円）

積立項目	令和３年度	令和４年度	説　明
前年度繰越額	3,000,255	4,000,306	
積　立　金	1,000,000	1,000,000	経常費会計より
定期預金利息	51	68	
合　計	4,000,306	5,000,374	

残高の　5,000,374 円　は次年度へ繰り越します。

令和４年度　同窓会香蘭会名簿・会報管理会計　決算報告書

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(B-A)	説　明
前年度繰越額	2,459,906	2,459,906	0	
名簿売り上げ金	0	0	0	
積　立　金	500,000	500,000	0	経常費会計より
雑　収　入	94	22	△72	預金利息
合　計	2,960,000	2,959,928	△72	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
会員情報管理費	0	0	0	
香蘭会報費	0	0	0	
通　信　費	4,000	2,360	1,640	郵送代・切手代
予　備　費	2,956,000	0	2,956,000	
合　計	2,960,000	2,360	2,957,640	

（収入額）2,959,928円　－　（支出額）2,360円　＝　（差引残額）2,957,568円
残額の　2,957,568 円　は次年度へ繰り越します。

令和４年度　同窓会香蘭会賛助金会計　決算報告書

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(B-A)	説　明
前年度繰越額	12,445,281	12,445,281	0	
寄　付　金	4,200,000	1,553,032	△2,646,968	
雑　収　入	719	116	△603	預金利息
合　計	16,646,000	13,998,429	△2,647,571	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
母校教育環境支援費	1,000,000	138,000	862,000	AMSAとの姉妹校交流活動維持費用
母校部活動支援費	100,000	20,000	80,000	全国大会出場部活動激励費
同窓会支援費	2,800,000	0	2,800,000	
予　備　費	12,746,000	0	12,746,000	
合　計	16,646,000	158,000	16,488,000	

（収入額）13,998,429円　－　（支出額）158,000円　＝　（差引残額）13,840,429円
残額の　13,840,429円　は次年度へ繰り越します。

上記のとおり報告します。
令和５年４月７日　　令和４年度　福岡県立福岡中央高等学校同窓会香蘭会会長　三木　和信
監査の結果、適正に処理されており、上記のとおり相違ないことを認めます。
監事　　占部　清美
監事　　池見　　繁

令和５年度　同窓会香蘭会経常費会計　予算書（案）

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
前年度繰越額	10,748,504	9,056,306	1,692,198	
会　費	6,588,000	6,330,000	258,000	@500円×1,098人×12月
入　会　金	1,705,000	1,735,000	△30,000	@5,000円×341人＝1,705,000円
終　身　会　費	1,705,000	1,735,000	△30,000	@5,000円×341人＝1,705,000円
雑　収　入	496	694	△198	預金利息
合　計	20,747,000	18,857,000	1,890,000	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
会　議　費	500,000	300,000	200,000	理事会経費等
総　会　費	2,000,000	2,000,000	0	
慶　弔　費	300,000	200,000	100,000	香典・弔電、転出者記念品料
渉　外　費	200,000	200,000	0	支部総会祝儀、卒業祝賀会費
旅　費	500,000	500,000	0	支部総会出席旅費、幹事補佐旅費補助等
事　務　局　費	1,800,000	1,600,000	200,000	消耗品費、事務局員手当等
情報通信費	600,000	600,000	0	電話代、ＨＰ運営費
振　興　費	1,200,000	1,200,000	0	各支部総会・ゴルフ会補助
母校後援費	2,000,000	1,500,000	500,000	生徒会部活動補助、卒業記念品代等
維持管理費	300,000	300,000	0	歴史資料室他母校施設設備修繕費等
繰　出　金	1,000,000	600,000	400,000	教育振興会補助金
周年行事積立金	1,000,000	1,000,000	0	周年行事積立金
名簿・会報管理積立金	500,000	500,000	0	
予　備　費	8,847,000	8,357,000	490,000	
合　計	20,747,000	18,857,000	1,890,000	

令和５年度　同窓会香蘭会名簿・香蘭会報会計　予算書（案）

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
前年度繰越額	2,957,568	2,459,906	497,662	
名簿売り上げ金	0	0	0	
積　立　金	500,000	500,000	0	経常費会計より
雑　収　入	32	94	△62	預金利息
合　計	3,457,600	2,960,000	497,600	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
会員情報管理費	0	0	0	
香蘭会報費	0	0	0	
通　信　費	4,000	4,000	0	郵送代・切手代
予　備　費	3,453,600	2,956,000	497,600	
合　計	3,457,600	2,960,000	497,600	

令和５年度　同窓会香蘭会賛助金会計　予算書（案）

収入の部　（単位：円）

収入科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
前年度繰越額	13,840,429	12,445,281	1,395,148	
寄　付　金	1,500,000	4,200,000	△2,700,000	
雑　収　入	571	719	△148	預金利息
合　計	15,341,000	16,646,000	△1,305,000	

支出の部　（単位：円）

支出科目	本年度予算額(A)	昨年度予算額(B)	比較増減額(A-B)	説　明
母校教育環境支援費	1,500,000	1,000,000	500,000	進路支援金・国際交流事業支援費等
母校部活動支援費	2,600,000	100,000	2,500,000	部活動遠征費補助・全国大会出場激励費等
同窓会支援費	2,800,000	2,800,000	0	会報制作費用(寄付金による独立採算制)
予　備　費	8,441,000	12,746,000	△4,305,000	
合　計	15,341,000	16,646,000	△1,305,000	

上記のとおり提案します。
令和５年４月１日　　福岡県立福岡中央高等学校同窓会香蘭会会長　三木　和信

賛助金御礼ならびにご協力のお願い

福岡県立福岡中央高等学校　同窓会香蘭会会長　三木和信

香蘭会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。同窓会香蘭会では、母校の教育環境（特に国際交流事業に力を入れています）・部活動および同窓会の本部・支部への支援を行っております。

令和四年度は、会員名簿発行のための調査の際、一口一万円の賛助金振込用紙を同封させていただきましたところ、五五七名の方々から計五、六一〇、〇〇〇円の賛助金のご協力を得ることが出来ました。

また、香蘭会会報の送付にあたり、会報発行ならびに母校への支援活動資金に充てるため賛助金をお願いいたしましたところ、一、三六四名の方々から二、九〇二、〇〇〇円の賛助金のご協力を得ることが出来ました。心より御礼申し上げます。

今年度も、同封させていただきました香蘭会賛助金振込用紙にて、一口二、〇〇〇円のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたします。

母校へ寄贈（寄付）

一、金一〇〇万円（国際交流事業支援として）
川口　敬介氏（高24）

一、金五〇万円（吹奏楽部指導者手当として）
岩﨑　宏達氏（高６）

一、金一〇万円
故　岩﨑　和子氏（高９）
ご家族様より

一、金一〇〇万円（香蘭会より母校生徒会へ）

香蘭会会員名簿の発行について

この度、五年振りに会員名簿が発行されます。

広告掲載ならびに調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。頂戴いたしましたいろいろなご意見は、今後の参考にさせていただく所存です。

ご予約いただきました皆様には、七月上旬より発送いたします。今しばらくお待ちください。

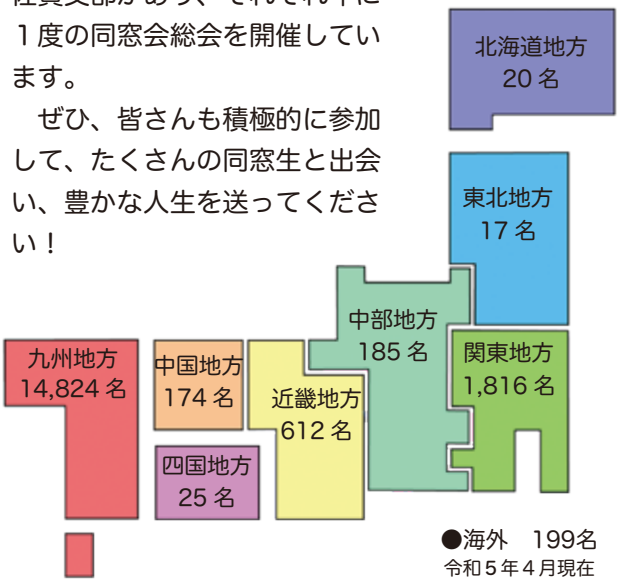
同窓会香蘭会会員分布図

創立125周年を迎えた本校では、これまでに約３万７千人の卒業生を輩出しています。

現在も、たくさんの同窓生が、いろいろな地域でご活躍されています。

同窓会香蘭会には本部・関東支部・近畿支部・佐賀支部があり、それぞれ年に１度の同窓会総会を開催しています。

ぜひ、皆さんも積極的に参加して、たくさんの同窓生と出会い、豊かな人生を送ってください！



●海外　199名
令和５年４月現在

*****2023年度の本部・各支部総会の予定*****

●本部総会
日　時　2023年７月１日（土）……３ページに掲載
場　所　ホテルニューオータニ博多３階「芙蓉の間」

●関東支部総会
日　時　2023年11月11日（土）
場　所　ニューオータニイン東京

●近畿支部総会
日　時　2023年10月21日（土）
場　所　ホテルグランヴィア京都

●春の同窓ゴルフ会
2023年４月29日（祝）雨のため中止いたしました

●秋の同窓ゴルフ会
2023年11月３日（祝）開催予定

詳細につきましては香蘭会ホームページでご案内いたします

事務局より

コロナ禍からようやく日常が戻りつつあります。今年度は、香蘭会総会もやっと以前の規模で開催出来そうです。

そんな中、残念ながら同窓会をかたった詐欺が社会的に大きな問題になっているのも事実です。何か怪しいと思ったり、不明な点などがございましたら、すぐに対応せず、どうぞご遠慮なく同窓会事務局までお問い合わせください。

香蘭会総会や支部総会、学年同窓会など、たくさんの同窓生が安心して集えますことを、心より願っております。

同窓会香蘭会ホームページ

http://www.kourankai.jp/
Yahoo、Googleからは「香蘭会」で検索できます

kourankai_info@yahoo.co.jp
担当理事　中村典子　事務局員　中江智子

携帯電話はこちらから!!

ご連絡先

福岡県立福岡中央高等学校
同窓会香蘭会事務局

〒810-0014
福岡市中央区平尾3-20-57
TEL 092-521-7870
FAX 092-791-2811